

# 常なる磐

つねなる いわ season II  
令和 4年 1月 21日(金)  
その1

## ◇ 白亜の校舎⑩ ぶち披露 (ピロティー・児童昇降口)

教室棟の外壁工事は、防水工程などの最後の仕上げを残すのみとなった。さて、ピロティーの【before and after】。2枚の写真をご覧ください。

令和 3年 9月 撮影



before

令和 4年 1月 撮影



After

一目瞭然である。特に、赤➡ペントハウスや庇の側面部は、まさに新生だ。

教室棟に続き、管理棟も工事が始まった。



校長室窓の「マスキングテープ貼り」は 30 分。空気溜まりもなく、流石のプロ技術。

### 【白亜】についての豆知識。

#### <白亜 名前の由来>

【白亜】は英語で「**chalk**」。つまり「チョーク」だ。

- ・いわゆる石灰のこと。貝殻などの生物より生じた炭酸カルシウムから成る。
- ・ジュラ紀から続く中生代の最終時代である白亜紀を特徴づけている【白亜】地質は、イギリス南部やフランスに広く分布している。
- ・授業で用いる白墨(はくぼく)は、この【白亜・**chalk**】を原料としたものもあり、その由来で白墨は「チョーク」と呼ばれる。
- ・とあるテレビ番組から得た情報では、日本では北海道で数多く獲れるホタテ貝の貝殻を白墨の原料として利用することが多いとのこと。

#### <白亜 色味>

- ・白墨(はくぼく・白色チョーク)は、深緑色の黒板に文字を書く時には真っ「白」だが、実際には純白ではない。熟語の成り立ちでも触れるが、純白に準ずる白色とでもいえばよいだろう。純白であると文字が光ってしまい、かえって文字が見えにくくなる。
- ・【白亜】は葉書の色のごとく「わずかに黄みがかかった白」、品のある【優しい白】である。
- ・【白亜】は、「白」の接尾に「亜」を付す。  
これは稀な例で、【亜鉛】、【亜熱帯】、【亜麻(色)】などのように接頭に付くことが多い。
- ・「熱帯」と「亜熱帯」の相関関係からもわかるように、漢字の【亜】は、「次位」「準ずる」「次の」といった意味を有する。そうになると、【亜】が二流に見えてしまうが、そうではない。例えば、【亜鉛】は、「鉛」の二次的金属ではなく、30番目の元素記号「Zn」を有する純金属であり、真鍮(銅+亜鉛=黄銅)のように二元合金を形成する代表的な金属である。

つまり、

【白亜】は、語源が「チョーク」にあるように、学校を象徴する色なのである。